

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 医療人材課
 担当名: 医師確保対策担当
 内線: 6014600

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
S64	地域医療教育センター事業費			一般会計	衛生費	医薬費	医薬総務費	医師確保対策費		
事業期間	平成28年度～	根拠法令	なし			針路	03 介護・医療体制の充実	SDGsゴール	3	
						分野施策	0304 医師・看護師確保対策の推進	SDGsターゲット	3-8	
1 事業概要	県内の医師・看護師等医療従事者のスキルアップ支援及び本県への誘導を図るシミュレータ等を利用した教育研修を実施する。 ア 地域医療教育センター事業費 △220千円 イ シミュレータ機器リース費 △6,347千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 地域医療教育センター事業費 4,330千円 県立小児医療センター新病院に付加機能として設置した地域医療教育センターで、医師や看護師をはじめとする医療従事者向けの研修などを行うために必要な経費 イ シミュレータ機器リース費 17,567千円 研修で使用するシミュレータ機器について、リース契約を結ぶことで安定的な研修の実施を実現する。 (2) 事業計画 ア 平成29年度 教育の基本方針(3つの柱)「人材育成」「チーム医療」「地域医療」に沿ってシミュレータを購入。センターが本格的に稼働。 平成30年度 本格稼働初年度の経験を踏まえ、医師の認定資格取得のための研修を実施し、県内の医療従事者の確保・誘導を図れる研修環境を構築していく。 令和元年度 以降 学会認定資格の指導者養成を目的とした研修や医療手技を学ぶ研修を行うなど、医師向け教育研修の一層の充実を図り、本県における医師の教育拠点となることを目指していく。 イ 新しいシミュレータ機器を使用することで、当センターの魅力が高まり、医師の県内定着にポジティブな影響を与えることができる。 (3) 事業効果 シミュレーション機器を活用した医療技術の研修等を行うことで、県内の医療人材の医療技術が向上すると共に、研修体制を充実させることで医師の県内誘導が進み、医師の確保が図られる。 (4) その他 ア 県立小児医療センターの8階に設置。専有面積約1,422㎡ イ 医師、看護師をはじめとする医療従事者全般に対する研修機会実施のためのシミュレーション機器を備えた研修室や仮想病室等のシミュレーション室を設置。 (5) 補正予算の概要 ア 事務費の節減による減 イ シミュレータ無償保証期間に伴う減						
2 事業主体及び負担区分	アイ (県10/10)									
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×2人=19,000千円									
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△6,567								△6,567	15,330
現計額	21,897								21,897	

事業内訳書

事業名	地域医療教育センター事業費		
単位事業名	地域医療教育センター事業費	予算額	△ 220千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△220	—	
合計	△220	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△191	—	事務費の節減による減
役務費	△29	—	事務費の節減による減
合計	△220	—	

単位事業名	シミュレーター機器リース費	予算額	△ 6,347千円
-------	---------------	-----	-----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△6,347	—	
合計	△6,347	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△6,347	—	シミュレーター無償保証期間に伴う減
合計	△6,347	—	